

すべては子供たちの笑顔のために

東信教育事務所

令和4年10月3日

〒384-0006
小諸市与良町6-5-5
Tel.0267-31-0251
Fax.0267-31-0140



バックナンバーはこちらから

響

ひびき
Vol.4

絶対に、
つかまえてやる。



Hibiki vol.4 「つかまえる」

✍️ “授業から学ぶ”

- ・ 子ども自身が、問いの答えを「つかまえる」ために
- ・ 目指す姿の具体を生徒自身が「つかまえる」

✍️ “研修の窓”

- ・ 初任者を支え、共にあゆむ
- ・ 互いの実践から、自己をみつめる

✍️ “sswの笑門来福”

✍️ 高校進学説明・相談会のお知らせ

✍️ “生涯学習課より”

刀を抜いて愛でる武士

絵を売る僧や騒ぐ犬

異国から来た寅の皮

季節の行事と大船団

僕は空から鳥の目で

江戸の繁華をつかまえる



授業から学ぶ

小学6年 社会
「江戸幕府
の政治」



子ども自身が、問いの答えを「つかまえる」ために
～学習問題と学習課題を子どもと共に据える～

「教師主導で学習問題を据えたり、学習課題を据えてしまうことが多い」という悩みをA先生は感じていました。子どもたちの気づきや考え、つぶやきから生まれる授業をめざして、A先生は授業を工夫しました。

意外性のある資料の提示→学習問題が据わる



戦国～安土桃山時代と、江戸時代の戦の数をグラフにし、比較して提示



江戸時代に戦が大きく減っていることに驚き、体をのけぞらせたBさん。「なんでこんなに戦が減ったの？」

分類・名付けを通して予想を練り上げる

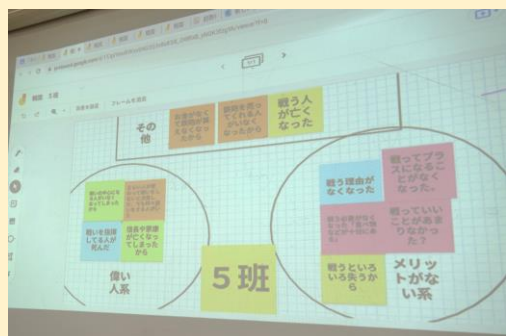


学習問題「なぜ江戸時代に大きく争いが減ったのだろうか」に対する予想を付箋ツールに書き込み、班で出し合う



出された予想を画面上で分類し、まとまりごとに「お金系」「憲法」「軍隊」など分類したグループに名前をつけていく

分類・名付けを共有、まとめる→学習課題が据わる



班ごとの分類・名付けを黒板に大きく映して共有。その後、教師と子どもたちとで話し合いながら、分類してつけた名前をさらにまとめていく。「お金」「法律」「外国」など、次時から調べる観点が決め出され、学習課題として位置づいた

本時、疑問を感じ、予想进行分类し、名付けをすることで、次時からの追究の見通しをもつことができた子どもたち。次時から意欲的に、粘り強く追究し、学習問題に対する答えを「つかまえよう」としていく姿が目に見えます。こうした、予想する→分類する→名付けをするといった「予想の練り上げ」を大切にしたいですね。



授業から学ぶ

中学3年 英語
「My Hot Sport」

目指す姿の具体を生徒自身が「つかまえる」 ～生徒が主体的に考え、動く授業～

「ALTの先生に興味をもってもらうためには何を伝えればよいか」
「ALTの先生と英語を使ってどのようなやりとりをしたいか」相手のことを考え、生徒自身が伝える内容や目指すやりとりの姿を決め出し、主体的に言語活動に取り組む授業でした。

【単元の目標】

ALTに興味をもってもらえるように、日本のスポーツについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。



ALTの先生はどのようなことに興味を示すのだろう？

生徒は、ALTが何に興味を示しているかに着目しながら、授業者とALTのゲートボールについてのやりとりを見ます

「何人でプレーするか」「どうなれば勝つのか」聞いている。ALTの先生は、やり方やルールに興味があるんだ。

最初に作った人について紹介したときに、ALTの先生が“Interesting!”と言っていた。歴史やエピソードにも興味がありそうだ。

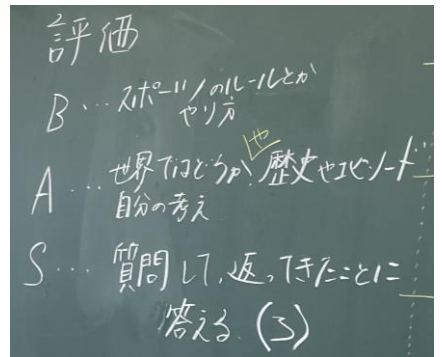


生徒は、ALTが興味を示していることを基に、伝える内容や目指す姿を考え評価基準を決め出します

やり方やルールは伝えよう。それが伝えられれば「B」かな。

歴史やエピソード、世界ではどうかということまで言えば「A」じゃない。「A」なら自分はそのスポーツに対してどう思っているかなど、自分の意見も言えた方がいい。

「S」は相手の興味をひけたかどうかかな。相手に質問したり、相手からの質問に答えたりできるようにしたい。



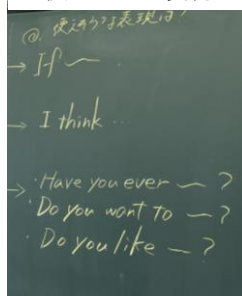
生徒は、ペアを変えて友とやりとりをします。1回目終了後には見えそうな表現を出し合います



1回目

剣道のルールについて説明するA生。話す内容が少しごちゃごちゃしてしまうと感じています。

全体で共有された見えそうな表現



2回目

A生は板書された「見えそうな表現」から、接続詞Ifを使ったり、質問を入れたりしながら説明します。

A生の振り返り

話す順番に気を付けたり質問を入れたりして説明できた。さらに歴史について詳しく説明したい。

剣道について説明するA生の姿からは、「ALTの先生に興味をもってほしい」という強い願いを感じました。次はA評価となる「歴史について説明したい」と自分の目指す姿をつかもうとするA生。主体的に考え、動いている姿ですね。

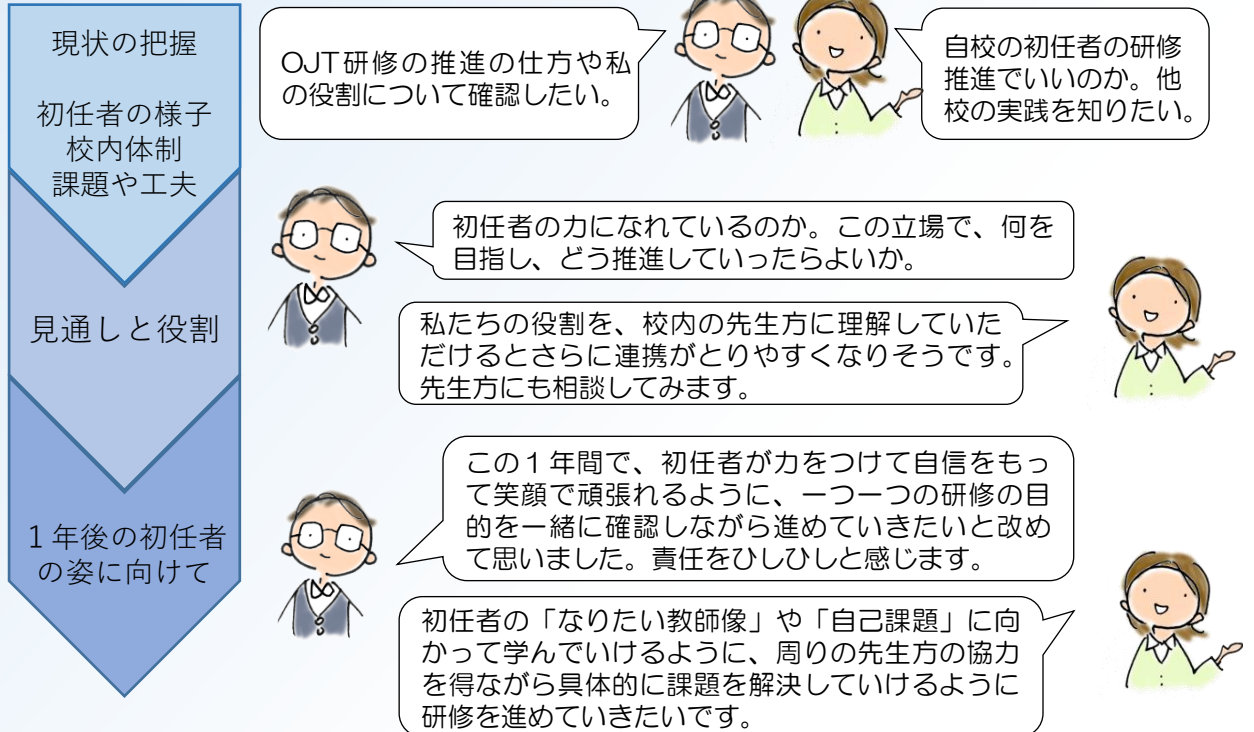




初任者を支え、共にあゆむ ～1年後の笑顔に向けて～

7月11日に行われた初任者研修「研修コーディネーター・指導教員研修会」では、1年後に願う初任者の姿を思い描き、今後の初任者研修の見通しや校内の研修体制の工夫を考えました。

研修コーディネーター・指導教員として、初任者の学びを支えていきたい

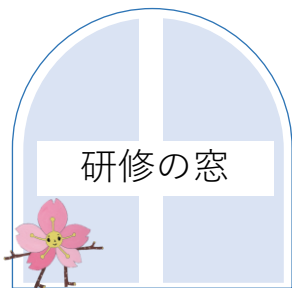


様々な工夫をしながら初任者研修を進めている各校の実践を紹介します。

- 校内OJT研修はメンターリーダーの先生と計画を立て、校内全体の先生方で進めている。
- 時間割の中に位置づけ、コーディネーターも参加することができるようにしている。
- 先生方の協力を得られていることで、初任の先生はとっても心強く感じている。

- 学校職員全員で、初任者研修に関わっている。
- 関わることで校内の先生方も初任研を通して、私も子供のために何ができるか考える機会になり、学校づくりにもつながっていく。

研修コーディネーター、指導教員の先生方が初任者研修の状況を自分の課題として捉え直している姿や、初任者の頑張りや悩みを語る様子からは、1年後の初任者の姿や子供たちの笑顔を思い描き、そこに向けて共に歩いていくという熱を感じました。これからも、多くの先生方で初任者を支えていきましょう。



研修の窓

互いの実践から、自己を見つめる ～教師力向上研修Ⅱ・Ⅳ～

初任者と5年経験者が共に実践を交流し合うことを通して、得られたものとは何か。初任者は先輩のICTの実践から、そして5年経験者は初任者の精一杯の実践から、互いに学び合いました。

<初任者の感想から>

先輩の先生方からの発表から、ICTを活用しながら、子供の考えと考えをつなげるためのアイデアが幅広くあるのだなと感じました。決してICTを活用することだけが「目的」にならないよう、子供に立ち返り、ねらいを明確にしていく必要があると感じました。

どの学校でもICTの活用が浸透してきている中で、「ただ使う」から「だから使う」という意識へ転換してきていることが、5年経験者の実践から見えてきました。ICTを効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成していきましょう。



<5年経験者の感想から>

初任者の先生方から学ばせていただくことがとても多く、自分が5年目というのが恥ずかしくなるぐらいでした。どの先生も、今、目の前の子供たちのために一生懸命考えたり、工夫したりしていることがすごく伝わってきました。今日、この時間に感じた気持ちを忘れず、日々の子供たちとの日常に生かしていきたいと思います。

初任者の実践はとても誠実です。今、目の前の子どもたちにどんな力をつけたいのかを考え、精一杯授業準備をし、試行錯誤しながら日々奮闘していることが伝わってきました。5年経験者にとっては、そんな初任者の姿と自分とを重ね合わせの中で、自らの実践を振り返る機会となったようです。



ICTを活用した授業が、本当に一人一人に合った学びを実現できる場となり得ることを、5年目の先輩先生方の実践から学ぶことができました。

初任の先生方とお話をする中で、改めて「初心忘れるべからず」「子ども一人一人に寄り添って授業を考える」ということを考えさせられました。



初任者と5年経験者が一緒に学び合う、クロスエイジ研修だからこそ得られた学びがありました。学校には経験年数の異なる、様々な引き出しを持った先生方がたくさんいらっしゃいます。校内においても、世代を超え、互いのよさから学び合うことを通して、自己を見つめる機会を大切にしたいですね。



SSWの 笑門来福

みんなの笑顔のために



SSW（スクールソーシャルワーカー）の 仕事について

今年の夏は暑かったですね。夏休みがあげ、登校をしぶる子が増える時期でもあります。今回はSSWの仕事について紹介したいと思います。

本人の問題にだけ焦点をあてるのではなく周囲の環境も含めて問題解決への糸口を探り環境改善に取り組みます。

そのために、必要となる福祉・医療機関と連携して対応します。

学校が生徒の家庭状況に踏み込めない（家族が相談したいと思っていない、困ってもいない）ケースについても学校と協力して状況を検証し、家庭に関われるような適切な方法などを一緒に考えさせていただきます。



- * 子どもや家族との面談を通して、子どもと共に家庭を支援
- * 保護者や家族の精神的な疾患からくるネグレクト、不登校やDV、発育不全への対応
- * 発達障がいによる集団不適應への対応
- * 経済的困窮家庭への進路選択の相談、情報提供



SSWは外部の専門機関につなぐだけでなく、問題解決のために学校の先生方の**支援チームの一員**として、一緒に考えたり相談したり活動させていただく中で、学校教育の視点とは違った見方・考え方をご提案できるかもしれません。

「ちょこっと相談」といって、申込み前段階での学校関係者との相談や問い合わせにも応じています。教頭先生を通して東信教育事所または各市教育委員会にお気軽に電話連絡ください。

悩みを一人で抱え込まないでくださいね！



お知らせ



高校進学説明・相談会



東信教育事務所では、いじめ・不登校地域支援事業の一環として、進路についての悩みや不安を抱えている不登校傾向にある生徒及び保護者を対象に、進路に関する相談会を開催し、進路選択の不安軽減に向けた支援を行っております。

今回は、高等学校の教頭先生や進路担当の先生がご相談に応じます。

上田創造館

11月4日(金)

17:30~20:00

佐久市民創錬センター

11月8日(火)

17:30~20:00

- <実施内容>
- 1 進路選択・高校進学に向けての個別相談
 - 2 学校概要や高校生活に関する高校ごとの個別説明・相談
 - 3 学力検査など進路に関する高校ごとの個別説明・相談

- 事前申し込みの必要はありませんが、待ち時間が長くなる学校もありますので、時間に余裕をもってご来場下さい。
- 不登校傾向の中学生及び卒業生のための相談会です。保護者の皆さんも参加できます。(感染症感染拡大防止のため、保護者の方の参加は1名のみでお願いします。)

○参加予定校一覧(上田・佐久両会場)

- ・長野西高等学校(公立:全日制・通信制)
 - ・坂城高等学校(公立:全日制)
 - ・上田高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・上田東高等学校(公立:全日制)
 - ・丸子修学館高等学校(公立:全日制)
 - ・東御清翔高等学校(公立:多部制単位制)
 - ・蓼科高等学校(公立:全日制)
 - ・長野西高校 望月サテライト校(公立:通信制)
 - ・小諸商業高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・小諸高等学校(公立:全日制)
 - ・軽井沢高等学校(公立:全日制)
 - ・佐久平総合技術高等学校(公立:全日制)
 - ・野沢南高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・長野俊英高等学校(私立:全日制)
 - ・上田西高等学校(私立:全日制)
 - ・佐久長聖高等学校(私立:全日制)
 - ・さくら国際高等学校(私立:通信制)
 - ・コードアカデミー高等学校(私立:通信制)
 - ・松本国際高等学校(私立:全日制・通信制)
 - ・地球環境高等学校(私立:通信制)
 - ・寺子屋高等学院(私立:通信制)
 - ・つくば開成学園高等学校(私立:通信制)
 - ・I D学園高等学校(私立:通信制)
 - ・KATEKYO高等学院(私立:通信制)
 - ・プリマ国際高等学院(私立:通信制)
 - ・青山高等学校 桜丘中学・高等学校(私立:全日制 全寮制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・東信子ども若者サポートネット

○上田会場のみ

- ・上田千曲高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・上田染谷丘高等学校(公立:全日制)
 - ・第一学院高等学校(私立:通信制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・上小圏域障害者総合支援センター

○佐久会場のみ

- ・岩村田高等学校(公立:全日制)
 - ・野沢北高等学校(公立:全日制)
 - ・小海高等学校(公立:全日制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・ウィズハートさく

※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況によっては中止・変更もあることをご理解願います。

※1年生については強い希望のある場合のみでお願いします。

【問い合わせ先】

☎0267-31-0251
東信教育事務所学校教育課
(担当) 田中 聖子



上小地区小・中学校PTA実践力向上研修 9月3日（土）にオンラインで開催しました

前半は松島恒志先生の講演、後半は6つの分科会でPTA実践発表と意見交換が行われ、PTA役員が研鑽を深めました。今回は講演内容の一部を紹介します。



講演 親はどうすればよいのでしょうか

～子どもがスマホやゲーム機を持ちたいとき～

講師 子どもとメディア信州代表 佐久市立野沢中学校長 松島 恒志 さん

講師の松島先生



子どもの現状

全国学力・学習状況調査や子どもとメディア信州が行ったアンケート結果からは次のようなことがわかります。

- メディアに触れている時間が長いと教科に関わらずテスト点が低下しています。
- 学年が上がるにつれてメディアに触れる時間が増えます。

など

<参加者の声>

ゲームが悪い訳ではなく、それだけになってしまうことや、親や人との関わりの希薄化などが問題であると受け止めました。そのための対処などにも言及があり、大変参考になりました。



参加者

スキンシップの重要性

アメリカの心理学者のハーロウが、サルの子を2種類の模型の代理母で育てる実験をしました。

準備した代理母の模型

- ① 哺乳瓶がついている針金製
- ② 哺乳瓶がついてない柔らかい布製

サルの子の行動

お腹がすいたときだけ針金製の代理母のところへ行ってミルクを飲みますが、多くの時間は布製の代理母のところでも過ごしていました。ミルクが出るわけではない代理母にしがみついているのです。

実験から示唆されること

愛着の形成には生存に必要なミルクよりも、柔らかい感触（スキンシップ）が重要ということです。

<参加者の声>

幼児期が大切とは言え、今から自分にできることもあるのだと実感しました！！子どもに何かあれば命がけで助ける！確かにそうですし、それなら普段から子どもと接する時間も大切にして命がけで子どもと接すること、それって貴重な時間だなと思いました。



子どもがやっているゲームの実際の動画を見て、課金トラブルになる原因やゲーム内の行動で嫌な思いをする実態を知り、一度はまってしまうとなかなか抜け出せないことがわかりました。集団で撃ち合うゲームに子ども達が夢中になっていることを知り、メディアが子どもに大きな影響を与えることを再認識しました。

「自分の子どもはどうだろうか」と自分事として振り返る機会となりました。親が子どもと共に過ごしコミュニケーションをとることの大切さや五感を通じた経験をすることの大切さに改めて気付くことができました。

生涯学習課 研修会案内



先生方のご参加お待ちしております！

社会教育

子どもが育つ地域共育フォーラム (兼 学社連携・協働意見交換会)

オンライン
開催

日時

10月17日(月) 13:20~15:55

講演

子育てと教育の根底を考える
～コロナ禍の今、考えたいこと、変わらず大切なこと～
立命館大学文学部教授 西村 拓生 氏

分科会

◎共生社会の種を蒔く～手作り絵本で子どもの感情に語り掛ける～
長野メディアーション研究所代表 依田 哲郎 氏

◎子どものSOSを大人はどう受け止めるのか
長野県健康福祉保健部保健・疾病対策課 企画幹 嶋田 智幸 氏

◎スクール・コミュニティデザインのはじめかた
～大人の学びからはじまる子どもとのつながり～
上田市立北小学校 教諭 服部 直幸 氏

◎子どもの居場所づくりから見えてくるもの
おけまる食堂実行委員会 事務局 小林 みゆき 氏
岩村田本町商店街振興組合 総務理事 細川 保英 氏

子どものために
大人ができること
を一緒に学んでみ
ませんか。



スポーツ振興

東信地区スポーツ指導者連携会議

参集開催

東信教育事務所
講堂

日時

10月28日(金) 13:30~15:40

講演

パラリンピックから学んだこと
日本パラリンピック委員会パフォーマンスディレクター
渡辺 幸次 氏

分散会

「障がいのある方に対する支援と
スポーツ環境の整備について」
意見交換会

学校と地域の障がい者
スポーツ振興について、
共に考えましょう。

東信地区の「総合型地域スポーツクラブ関係者」「市町村生涯スポーツ担当者」
「スポーツ推進委員」など、スポーツ団体関係者が参加します



詳しくは、発出してある開催要項をご覧ください。

